

第4回淀川部会検討会（2002.6.16開催）結果報告	2002.6.19 庶務発信
開催日時：2002年6月16日（日） 14：00～16：00 論点別ワーキンググループ 16：10～18：30 部会検討会	
場 所：池坊短期大学 洗心館・美心館	
出席委員数：17名	
<p>< 論点別ワーキンググループ ></p> <p>下記の4つのグループに分かれ、今後部会にて議論が必要となる論点を検討した（カッコ内は出席された委員名。下線はリーダー）。</p> <ul style="list-style-type: none">・水需要管理、水利権（<u>荻野委員</u>、寺田部会長、原田委員、榎村委員、渡辺委員）・高水敷利用（<u>紀平委員</u>、有馬委員、塚本委員）・洪水防御、防災（<u>柘屋代理</u>、今本委員、大手委員、小竹委員、山本委員）・環境、水質（<u>川上委員</u>、倉田委員、谷田委員、和田委員） <p>< 部会検討会 ></p> <p>1 検討内容および決定事項</p> <p>論点別ワーキンググループ（以下、WG）の結果報告および意見交換</p> <ul style="list-style-type: none">・各リーダーより論点別WGの議論の内容が報告され、それにもとづいて議論が行われた。WGの結果については、参考資料1 - 3に記述。 <p>今後の活動について</p> <ul style="list-style-type: none">・淀川部会の一般からの意見聴取の試行である、現地対話集会のテーマや実施方法などについて、意見交換を行った。・本日の議論をふまえた実施案をもとに、次回第16回淀川部会（6/24）において、改めて淀川部会の現地対話集会のテーマ及び、現地対話の実施場所について決定する。	

このお知らせは委員の皆様に必要な決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。

2. 主な意見

(1) 論点別WGの内容報告および意見交換

治水G

リーダーからの報告(参考資料1-2参照)

意見交換

- ・ 治水に関する問題を共通認識する必要がある
- ・ 河川審議会と言うところの総合治水対策と今回の治水の考え方との違いを明確にする必要がある。
- ・ 今回の場合は、河川ですべてを受け持つことは限界である、ことを認識し、発想の転換を行うことであろう。

水需要管理G

リーダーからの報告(参考資料1-2参照)

意見交換

- ・ 取水できる量には限界があり、使える量を想定した上で水の配分を考える、という考え方に立つべきではないか。そこから出発しないと発想の展開とは言えない。今のWGの議論を聞いていると、需要量の考え方、手法を議論しているようなので、少し違うように思う。取水量の限界を決める方向で議論を進めるべきではないか。
- ・ 渇水対策と利水の話は切り分ける必要がある。
- ・ 水道を公営で供給するのには限界があるのではないか。

環境・水質G

リーダーからの報告(参考資料1-2参照)

意見交換

- ・ 内水面漁業は海面漁業とは異なるのだが、それを同じように扱っているところに無理がある。
- ・ 環境や水質の議論が盛り上がらないのは、国土交通省の管轄外のことが多いからではないかと思っている。
- ・ 「本来の川らしさ」は川によっても、場所によっても違う。一概に言えない。
- ・ 農業と環境保全を一緒に考える必要がある。
- ・ 権利の聖域なき見直しと書いてあるが、水利権、漁業権、占有権は分けて考える必要があるのでは。

高水敷・利用G

リーダーからの報告(参考資料1-2参照)

意見交換

- ・ 高水敷の存在理由は何なのかが理解できない。
- ・ 場所によって違いはあるが、淀川としては全体としては、基本的には高水敷きは原則利用

しないことが必要ではないか。

- ・ 高水敷は治水のためにつくられたのではない。舟運が盛んだった昔に水深を確保しようということで作られた。
- ・ 高水敷きに水が載ることが必要である。しかし、ダム操作によって高水敷きに水をあげようという考え方は、新たなダムをつくる理由にされかねない。

(2) 淀川部会における一般意見聴取の試行について

部会長より、実施案が説明された。

- ・ 2～3回程度、テーマを変えて実施する。
 - ・ 午前中は自治体、午後は住民との意見交換とする。
 - ・ 場所はテーマに近い(水質であれば処理場など)ところでの実施を考えている。
- 意見交換
- ・ 開催地ごとに意見交換のテーマが違っているが、共通のテーマの方が良いかもしれない。
 - ・ 以前に実施した意見聴取の会の反省にたつと、意見交換のテーマを設定した方が有意義ではないか、と考えている。話しやすい雰囲気づくりが必要と思う。
 - ・ テーマによっては、議論が白熱することが予想される。いろいろな場面を想定しておく必要がある。
 - ・ どういう立場で実施するのかを決めておく必要がある。部会と異なる意見の人々を説得する、という立場なのか。
 - ・ テーマは具体的で一般の人に親しみやすいテーマとする必要がある。
 - ・ 場所は一般の人がアクセスしやすいところにする方が良さそう。
 - ・ 実施回数は2回が限度ではないか。

(部会長)

- ・ 6/24の部会に今日の意見を踏まえて今回の案を修正して提出する。
- ・ それまでに追加意見がある委員は庶務まで伝えてほしい。